

日臨技総合監理検査技師制度概要

認定管理検査技師コース

総合監理検査技師コース

I 日臨技総合監理検査技師制度の目的

現在の医業は、少子高齢化の進行、疾病構造の変化、医療技術等の進歩による国民医療費の増大などにより急速に変化しつつある。また、医療訴訟の激増など医療に対する国民のニーズの多様化に伴って、医療の質の担保や医療事故の防止が喫緊の課題となっている。さらに、電子カルテシステムなどの医療情報システムを導入することにより診療情報の電子化が進められており、検査室で扱うデータの蓄積量も膨大となってきた。これらの蓄積されたデータを管理し、戦略的な情報分析を行い、それにもとづいた診療支援を行うとともに、検査室運営の中長期計画を立案し実行しなければならない。このような現況の中、臨床検査部門は国民に対し質の高い組織的臨床検査サービスを提供することを使命とし、高度な臨床検査情報の維持および向上に寄与しなければならない。

そのためには、一定水準以上の臨床検査管理者による管理体制を整える必要がある。また、臨床検査管理者は、専門的な知識と技術を用いて、患者、来訪者、医療従事者、施設、環境を対象に、組織横断的に管理運営方針を計画し、実践し、評価する必要がある。

この認定制度は、臨床検査部門の管理運営に携わることの出来る臨床検査技師の認定および臨床検査部門に留まらず、医療機関のリーダーと成り得る資質を持った臨床検査技師を認定することを目的にしたものである。

認定取得のインセンティブとして、「精度保証施設認証制度」の申請要件とするとともに、制度開始当初より医療機能評価受診時の加点項目への追加を働きかけ、管理加算の必須項目化を要望していく。これらを実現することにより、病院設置基準への「臨床検査技師」の名称・定数記載を目指す。

II 日臨技総合監理検査技師制度の概要

1. 認定制度全体：日臨技総合監理検査技師制度

認定管理検査技師コースと総合監理検査技師コースの2コースから構成される。

2. 認定管理検査技師コース

3クール6日間の指定講習を受講することにより、認定管理検査技師として認定される。

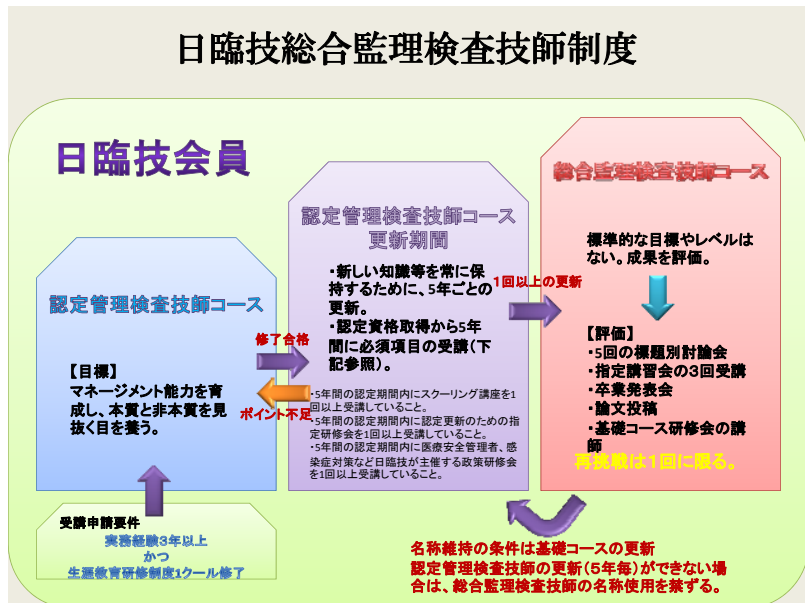
本コースは、管理・運営能力の定着を目的とする。指定講習の参加方法は、自宅学習と集合形式の学習を合わせたカリキュラム体系とする。また、認定更新制度を導入し、常に新しい知識の習得に努めるとともに、本質と非本質を見抜く訓練を行ない、次のステップである総合監理検査技師の制度へ引き上げていく。

3. 総合監理検査技師コース

認定管理検査技師認定後、さらに修練を積み医療機関のリーダーとしての要件を満

たすことにより総合監理検査技師として認定される。

人材を育成するコースではないため標準的な目標やレベルもないが、総合監理検査技師は志が高く、独学の精神を持っており、自らの将来は己が決め、進んでやるべき事、為さなければならない事を為す者である。チャンスや良き環境を与えて成果を評価する。



Ⅲ 認定管理検査技師コース

1 認定管理検査技師コースの基本的考え方

1. 1 コースの概要

日常遭遇しやすい問題や業務管理法を中心に指定講習を行い、基礎知識の再確認と演習と討論を実施することにより定着を図る。講習期間を通じて、基礎知識の定着が図られたと認められる者を認定管理検査技師として認定する。

1. 2 受講資格

- 1) 臨床検査技師免許資格取得後3年以上の実務経験があること。
- 2) 日臨技会員であること。
- 3) 生涯教育研修制度1クール修了していること。

1. 3 受講申請

- 1) 認定管理検査技師コース申請書の提出をもって受講生登録とする。
- 2) 所定の受講申請料を徴収する。

1. 3 認定取得条件

- 1) 集合講習と通信講習を開設する。
- 2) 集合講習を年3回(3クール6日間)指定講習会として開催する。
 - ・講習1回の単位は、土曜日(13:00~20:40)・日曜日(9:00~16:00)の2

日間。

- ・ 必須要件として集合講習を最低 1 回は受講するものとし、講習への参加率(講習時間の 90%以上)および演習・課題検討での貢献により適否を判断する。

3) 集合講習 1 回単位の講義すべてを DVD で録画し、欠席した受講生に対しては(通信講習の併用) 1 ヶ月以内に DVD を郵送配布する。

4) 欠席した講習については、DVD において聴講し、レポートの提出を義務とする。

5) 通信講習の受講承認は、その回の講習のテーマ 1 題を選択し、レポート提出とする。

- ・ レポートは、2000 字(原稿用紙 5 枚 10.5 ポイント MS 明朝)程度とし、講習終了から 2 ヶ月以内をレポートの提出期限とする。

6) 講習 1 回単位の受講終了承認は、審議会で判定する。

7) 受講申込の年度内を受講資格の有効期間とし、原則として 1 年とするが、日臨技中央認定委員会の判断により、追加 1 年間(合計 2 年間)の猶予を与える。

8) 受講期間を 1 年間延長した場合、所定の追加受講料(10,000 円)を徴収する。

9) 最終の資格認定は日臨技中央認定委員会で判定され、理事会で承認する。
判定基準は、集合講習では参加率と討論会での参加・貢献度をもって行い、通信講習ではレポートの内容をもって行う。

10) 合格と判定された者には、所定の資格認定料の納入により資格を付与する。

1. 4 認定資格の更新期間と更新時期

1) 所定の課程を修了した受講者に対し、日臨技中央認定委員会で承認後、翌年度の 4 月 1 日より認定資格を付与する。

2) 年度単位とする(4 月 1 日～3 月 31 日)。

3) 新しい知識等を常に保持するために、5 年ごとの認定期間とし、更新制度を設ける。

1. 5 資格更新制度の目的と考え方

1.5.1 資格更新制度の目的

資格更新制度の目的は、最新の医業と臨床検査の知識を習得し、学習で得た知識、実務を通して磨き、質の高い組織的臨床検査サービスを提供することを目指し、一定の基準に基づいた最新かつ高度な情報を提供することである。

1.5.2. 資格更新制度の考え方

資格更新制度は、次の考え方に基づいている。

- ・ 資格の有効期間は 5 年間であるが、期間内の受講報告が必要となる。
- ・ 更新に必要な受講必須講習等を設定する。

1.5.3. 資格更新制度の概要

- 1) 下記に示す所定の履修により、一定の知識を有すると認められた者。
- 2) 認定資格取得から 5 年間の認定期間内に以下の講習等の受講を必須とする。
 - ・ 5 年間の認定期間内に更新申請用指定講習会を 1 回以上受講していること。
 - ＊年一回、夏季に開講予定。
 - 制度開始当初は、DVD により聴講も考慮し、所定のレポートを提出することで受講扱いとする。
 - 指定講習会は制度開始後 5 年を目途に支部ローテーション開催を検討する。
 - ・ 5 年間の認定期間内に医療安全管理者、感染症対策など日臨技が指定する講習会（支部開催を含む）を 1 回以上受講していること。
- 3) 認定更新申請用紙に記入し、提出する（自己申告制）。
- 4) 所定の認定更新料を徴収する。

1. 6 受講申請料・資格認定料及び認定更新料等

- 1) 受講申請料： 20,000 円（講習受講のための費用）
- 2) 追加受講料： 10,000 円（受講期間を 1 年間延長した場合の追加費用）
- 3) 資格認定料： 20,000 円（認定資格授与のための費用）
- 4) 認定更新料： 20,000 円（認定資格更新のための費用）

1. 7 認定資格の失効

更新期間の 5 年間で上記要件を満たさなかった者は認定資格を失効する。

1. 8 認定資格に付与される権利

日臨技総合監理検査技師への受験申請資格

＊日臨技認定管理検査技師を 1 回以上更新した者には、日臨技総合監理検査技師への受験申請の資格が付与される。

2. 認定管理検査技師コースの講習の概要

2. 1 集合講習の設計

- 1) 集合講習を年 3 回開催し、1 回以上の受講を必須とする。

土曜日	13:00～20:40	4 講義（1 講義：90 分）
日曜日	9:00～16:00	2 講義（1 講義：90 分）＋課題討論（180 分）
＊合計		18 講義 3 課題討論
- 2) 通信講習は最高 2 回まで利用可能とする。
 - ・ DVD において聴講し、レポート提出（DVD 発送後から期限以内）を義務づける。

2. 2 講習スケジュール

・・・資料ー1 講習スケジュール表

1) 日程

(1) 集合講習・DVD 撮影・発送 日程

(2) レポート提出（通信講習）日程

(3) 認定作業日程

- ・審議会を設置し、毎年度 12 月中旬に認定結果判定作業を実施する。
- ・日臨技中央認定委員会により認定者及び次年度繰越の受講生を決定し、理事会の承認を得る。

2) 講師（案）

- ・現在、検討及び交渉中である。
- ・専門科目については、外部講師に依頼する。

2. 3 講習と科目名

1) 第 1 回 『運営の基礎』を確認しよう。10 月第三週の土・日曜日。

- ・管理運営を考えるにあたって
- ・医療保険のしくみ
- ・病院の会計方法(財務と採算性)
- ・良き人間関係を構築するために
- ・検査室経営・運営方針の考え方
- ・最近の医療事故について
- ・第 1 回 演習・課題討論

2) 第 2 回 『業務と表現能力』について。2 月第三週の土・日曜日。

- ・文書の表現方法
- ・世界の医療(医療思想史)
- ・医療政策(1)
- ・医療政策(2)
- ・病院の倫理
- ・経営・運営組織構築の基礎
- ・第 2 回 演習・課題討論

3) 第 3 回 『日々の課題』を考える。6 月第三週の土・日曜日。

- ・医療の安全管理
- ・院内感染の管理
- ・病院情報の管理
- ・検査室の危機管理
- ・バイオサイエンスの統計学

- ・精度保証の考え方
- ・第3回 演習・課題討論

4) 予備期間

11月末日までにレポート未提出、再提出者に対する予備期間とする。

2. 4 講習における科目内容と目的

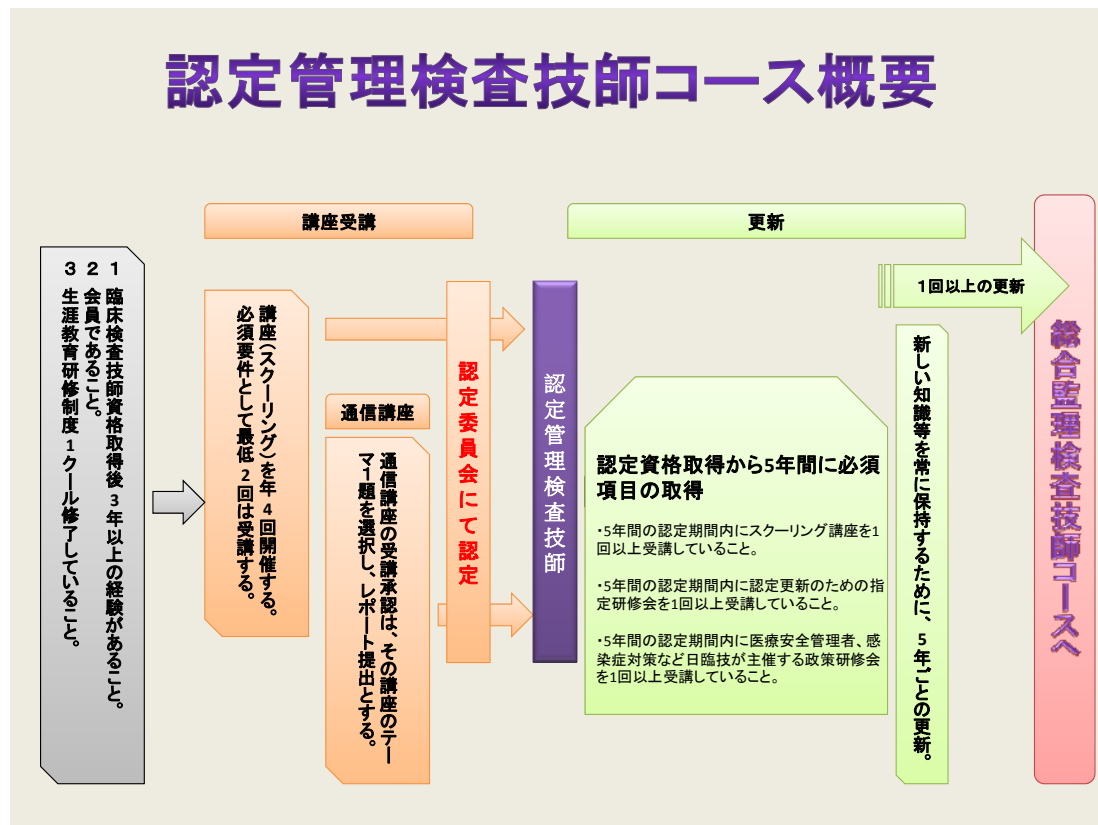
・・・資料－2 認定管理検査技師コースシラバス

1) コースの教育理念・目的・目標

- ・資料参照。

2) 科目内容（授業目標・概要・評価）

- ・資料参照。



IV 総合監理検査技師コース

1. 総合監理検査技師過程の目的

本コースは、急速に変化しつつある医療環境において、幅広い周辺諸科学の知識を持ち、医療管理分野において指導的立場で活躍する人材の発掘を図り、認定しようとするものである。

2. 総合監理検査技師コースの要件について

人材の育成する制度でないので標準的な目標やレベルもない。標題別討論会、指定講習会を経たのち、最終考查論文、面接試験により評価する。

《総合監理検査技師に求める基準とチェック項目》

- ・多くの人より優れた評価が得られる人材であること
- ・すぐれた人格を有していること
- ・正義感（義）を持っていること
- ・覚悟を有していること
- ・決断力を有していること
- ・本質を見抜く力を有していること
- ・指導者としての資質を持っていること
（理念、愛、思想、道徳心、正義心）
- ・危機管理能力を持っていること

3. 選考条件について

- ・認定管理検査技師コースの1度目の更新以降に総合監理検査技師コースへの申請ができ、1年間に亘り研修会に参加する。
- ・5回の標題別討論会は、検査とは関係ない事例についての検討となり、幅広い知性が試される。（難題を投げかけ回答を求める。）
- ・指定講習会3回受講する。
- ・卒業発表会を経て医学検査などに論文投稿を必須とする。
- ・総合監理検査技師コースの者は、認定管理検査技師コース研修会の講師などを義務とする。

4. 審査方法について

- ・最終考查小論文（一般課題と時局を反映した課題より各々選択して）を提出する。
- ・有識者の面接が行われ、適合すると総合監理検査技師の称号が付与される。
- ・最終考查小論文の課題と時局課題に関しては、今後試験委員会構成員で検討し、決定する予定である。

5. 再挑戦について（1回に限る）

- ・総合監理検査技師コースの考查試験を不合格となった場合、再度総合監理検査技師コースの申請をし、研修を受講の後、最終考查論文、面接試験に再度挑戦する。

6. 認定者の役割について

- ・総合監理検査技師は、専門分野はもちろん病院の運営、技師会運営等の指導者的存在と

して活躍することが期待される。(社会的評価は、ある程度人数が増えてきた段階で評価されるようになることが期待されている。)

7. その他

- ・良き原石、その人の伸びる環境、チャンスを与え、審査により奨学金やその他の資金を援助する場合もある。
- ・名称使用の制限；認定管理検査技師の更新（5年毎）ができない場合は、総合監理検査技師の名称使用を禁ずる。

資料－1 講習スケジュール表

	1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5か月目	6か月目
通信講習		『運営・管理の基礎』 管理運営を考えるにあたって 医療保険のしくみ 良き人間関係を構築するために 検査室経営・運営方針の考え方 最近の医療事故について		レポート提出期間		『業務と表現能力』 文書表現 世界の医療(医療思想史) 医療政策(1) 医療政策(2) 病院の倫理 経営・運営組織構築の基礎
集合講習	第1回『運営・管理の基礎』 土曜日 日曜日 8:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00				第2回『業務と表現能力』 土曜日 日曜日 8:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00	
	7か月目	8か月目	9か月目	10か月目	11か月目	12か月目
通信講習		レポート提出期間		『日々の課題』 医療の安全管理 院内感染の管理 検査室の危機管理 バイオサイエンスの統計学 精度保証の考え方	レポート提出期間(13か月目まで) レポート再提出等予備期間(14か月・目15か月目)	
集合講習			第3回『日々の課題』 土曜日 日曜日 8:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00			

認定管理検査技師コース集合講習概要

第1回 『運営・管理の基礎』		第2回 『業務と表現能力』		第3回 『日々の課題』	
土曜日	日曜日	土曜日	日曜日	土曜日	日曜日
9:00		9:00		9:00	
10:00	検査を取り巻く法律	10:00	病院の倫理	10:00	バイオサイエンスの統計学
11:00		11:00		11:00	
12:00	最近の医療事故について	12:00	経営・運営組織構築の基礎	12:00	精度保証の考え方
13:00	昼休み	13:00	昼休み	13:00	昼休み
14:00	運営・管理を考えるにあたって	14:00	文書の表現方法	14:00	医療の安全管理
15:00		15:00		15:00	
16:00	医療保険のしくみ	16:00	世界の医療(医療思想史)	16:00	院内感染の管理
17:00		17:00		17:00	
18:00	病院の会計方法(財務と採算性)	18:00	医療政策(1)	18:00	病院情報の管理
19:00		19:00		19:00	
20:00	良き人間関係を構築するために	20:00	医療政策(2)	20:00	検査室の危機管理